



## 2026年1月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年9月10日

上場会社名 モイ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5031 URL <https://about.moi.st/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤松 洋介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 入山 高光 TEL 03-3527-1471  
 半期報告書提出予定日 2025年9月10日 配当支払開始予定日 -  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年1月期第2四半期（中間期）の業績（2025年2月1日～2025年7月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年1月期中間期	3,305	1.1	146	10.5	181	25.3	68	△38.4
2025年1月期中間期	3,268	2.0	132	20.7	144	24.7	111	20.4

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年1月期中間期	4.93	4.93
2025年1月期中間期	8.00	8.00

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年1月期中間期	4,180	1,940	46.4
2025年1月期	4,139	1,871	45.2

(参考) 自己資本 2026年1月期中間期 1,940百万円 2025年1月期 1,871百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年1月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2026年1月期	-	0.00	-	-	-
2026年1月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年1月期の業績予想（2025年2月1日～2026年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,610	0.3	115	△50.2	129	△49.3	-	-	-

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年1月期中間期	13,966,000株	2025年1月期	13,966,000株
② 期末自己株式数	2026年1月期中間期	一株	2025年1月期	一株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年1月期中間期	13,966,000株	2025年1月期中間期	13,966,000株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料「1. 当中間決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) キャッシュ・フローの状況 .....	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間貸借対照表 .....	4
(2) 中間損益計算書 .....	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(会計上の見積りの変更) .....	7
(中間貸借対照表に関する注記) .....	7
(中間損益計算書に関する注記) .....	7
(中間キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間における我が国経済は、雇用や所得環境の改善等を背景として、緩やかな回復傾向が継続しましたが、米国の関税政策や物価上昇等の影響により、依然として先行きは不透明な状況となっています。

当社を取り巻くインターネット関連市場につきましては、スマートフォンやタブレット端末の普及に伴い、日本における2025年3月末時点の移動系通信の契約数は、2億2,391万回線(前年同期比2.9%増)と緩やかな増加が続いております。(出所:総務省「電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表(令和6年度第4四半期(3月末))」)。また、当社がターゲットとする動画投稿・ライブ配信市場においては、グローバルSNSプラットフォームを中心として、利用者の増加傾向が継続しており、今後も市場は堅調に成長していく見通しです。

このような事業環境のもと、当社では、ゲーム感覚でボーナスや賞品が当たるユーザー参加型キャンペーンの開催、人気キャラクター「おしゅしだよ」のキャラクタースタンプ第5弾の公開、多彩な人気映画の共同オンライン視聴イベントの実施、サンリオキャラクターズとのコラボレーションキャンペーンの開催等により、ユーザー満足度の向上に努めました。また、「公式ストア」のリニューアルによる「ツイキャspreミア」のブランディング強化、「文化放送」とのコラボレーションによる「歌い手フェス vol.4 supported by 文化放送」の開催、アプリ内課金のポイント販売価格改定やアイテムチケットの決済手段追加等を通して、プラットフォームにおける経済規模拡大を推進し、一方で文化の多様性拡大を目指して、電話をかけるような気軽さで配信者同士を繋ぐ「リンク」機能の公開等を実施しました。

その結果、当中間会計期間において、当社の重要指標の一つである月間平均ポイントARPPU(Average Revenue Per Paid Userの略、課金ユーザー一人当たりの平均課金額)は7,179円(前年同期比7.1%増)と順調に推移しました。また、実質売上総利益(当社が獲得する売上高合計から、収益化された配信者に対してお支払する報酬額と、Apple Inc., Google Inc. 等の決済代行業者に対して支払う手数料を差し引いた金額)については、「メンバーシップ」の成長が継続したことが貢献し、912,795千円(前年同期比2.1%増)となりました。一方で、月間平均ポイントPU(Paid Userの略、課金ユーザー数)は67千(前年同期比7.6%減)となり、連動してポイント販売売上は2,923百万円(前年同期比1.1%減)の着地となりました。

また、2025年3月12日公表の「特別損失及び繰延税金資産の計上、並びに通期業績予想と実績値との差異及び前期実績値と実績値との差異に関するお知らせ」に記載のとおり、当社は、音楽著作権管理団体(以下、管理団体)と当社サービス「ツイキャス」での楽曲利用に伴う収入報告の内容に係る協議を継続しておりますが、当中間会計期間において、協議事項の適切な解決に向けて追加で発生する可能性のある費用として75,100千円の特別損失を計上いたしました。当社といたしましては、本事案の早期解決に向けて引き続き適切に対応を行っていく予定です。

以上の結果、当中間会計期間における実績は、売上高が3,305,556千円(前年同期比1.1%増)、営業利益は146,162千円(前年同期比10.5%増)、経常利益は181,120千円(前年同期比25.3%増)となり、中間純利益は68,872千円(前年同期比38.4%減)となりました。

なお、当社はライブ配信コミュニケーションプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメントに関する記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当中間会計期間末における資産合計は4,180,799千円となり、前事業年度末に比べ41,263千円増加いたしました。

流動資産は3,831,910千円(前事業年度末比64,589千円増加)となりました。主な要因は、その他に含まれる未収入金の増加38,211千円、売掛金の増加25,404千円等によるものであります。

また、固定資産は348,889千円(前事業年度末比23,326千円減少)となりました。主な要因は、サーバー等のインフラ投資の減価償却に伴う工具、器具及び備品の減少25,231千円等によるものであります。

#### (負債)

当中間会計期間末における負債合計は2,240,019千円となり、前事業年度末に比べ27,609千円減少いたしました。

流動負債は2,240,019千円(前事業年度末比27,609千円減少)となりました。主な要因は、ユーザーへの支払報酬である買掛金の減少125,429千円、管理団体との協議事項の適切な解決に向けた交渉に関連し発生する可能性のある費用を含む未払費用の増加73,232千円、その他に含まれる未払消費税等の減少27,567千円、チケット・コンテンツの売買取代金及び「メンバーシップ」の会員費である預り金の増加48,051千円、販売したポイントの未利用残高等である前受金の増加29,163千円等によるものであります。

なお、固定負債はありません。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は1,940,780千円となり、前事業年度末に比べ68,872千円増加いたしました。これは、中間純利益68,872千円の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は46.4%(前事業年度末は45.2%)となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」)の残高は、前事業年度末と比べ2,655千円減少し、2,980,849千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における営業活動により獲得した資金は、2,383千円(前年同期は234,731千円の資金の獲得)となりました。これは主に、税引前中間純利益の計上106,020千円、仕入債務の減少125,429千円、法人税等の支払額75,142千円、預り金の増加額48,051千円、その他の流動負債の増加45,664千円、その他の流動資産の増加38,193千円、前受金の増加額29,163千円、減価償却費の計上27,994千円、売上債権の増加25,404千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における投資活動により支出した資金は、4,668千円(前年同期は20,017千円の資金の支出)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出1,280千円、保証金の差入による支出3,387千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローはありません。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年1月期の業績予想につきましては、2025年3月12日公表の「2025年1月期決算短信」から変更はありません。今後、経営環境等の変化により業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示してまいります。

## 2. 中間財務諸表及び主な注記

## (1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年1月31日)	当中間会計期間 (2025年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,978,629	2,979,837
売掛金	766,454	791,859
預け金	4,875	1,012
棚卸資産	※ <sub>1</sub> 395	※ <sub>1</sub> 395
その他	17,203	58,805
貸倒引当金	△237	—
流動資産合計	3,767,321	3,831,910
固定資産		
有形固定資産	162,772	137,451
投資その他の資産		
差入保証金	※ <sub>2</sub> 93,693	※ <sub>2</sub> 95,688
繰延税金資産	115,749	115,749
投資その他の資産合計	209,442	211,437
固定資産合計	372,215	348,889
資産合計	4,139,536	4,180,799
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	854,241	728,812
未払金	287,103	300,038
前受金	213,625	242,789
未払法人税等	75,458	37,463
預り金	614,513	662,565
その他	222,686	268,350
流動負債合計	2,267,629	2,240,019
負債合計	2,267,629	2,240,019
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	1,944,774	1,944,774
利益剰余金	△122,866	△53,993
株主資本合計	1,871,907	1,940,780
純資産合計	1,871,907	1,940,780
負債純資産合計	4,139,536	4,180,799

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)	当中間会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)
売上高	3,268,213	3,305,556
売上原価	1,608,608	1,616,651
売上総利益	1,659,605	1,688,904
販売費及び一般管理費	※1 1,527,311	※1 1,542,742
営業利益	132,294	146,162
営業外収益		
受取利息	71	1,966
受取手数料	12,475	31,982
雑収入	707	1,379
営業外収益合計	13,254	35,328
営業外費用		
雑損失	57	—
為替差損	916	370
営業外費用合計	974	370
経常利益	144,574	181,120
特別損失		
取引協議費用	—	※2 75,100
特別損失合計	—	75,100
税引前中間純利益	144,574	106,020
法人税等	32,837	37,147
中間純利益	111,736	68,872

## (3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)	当中間会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間純利益	144,574	106,020
減価償却費	28,755	27,994
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△237
為替差損益(△は益)	916	370
受取利息	△71	△1,966
受取手数料	△12,475	△31,982
売上債権の増減額(△は増加)	△43,038	△25,404
棚卸資産の増減額(△は増加)	△321	—
前渡金の増減額(△は増加)	17,532	△949
前払費用の増減額(△は増加)	1,391	△2,459
その他の流動資産の増減額(△は増加)	15,341	△38,193
仕入債務の増減額(△は減少)	21,864	△125,429
前受金の増減額(△は減少)	△11,491	29,163
預り金の増減額(△は減少)	59,353	48,051
未払金の増減額(△は減少)	17,312	12,934
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△16,983	45,664
小計	222,659	43,576
利息の受取額	71	1,966
受取手数料の受取額	12,475	31,982
法人税等の支払額	△475	△75,142
営業活動によるキャッシュ・フロー	234,731	2,383
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,770	△1,280
保証金の差入による支出	△15,247	△3,387
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,017	△4,668
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△60	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△60	—
現金及び現金同等物に係る換算差額	△916	△370
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	213,737	△2,655
現金及び現金同等物の期首残高	2,260,871	2,983,505
現金及び現金同等物の中間期末残高	※ 2,474,609	※ 2,980,849



（4）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前中間純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積もりの変更）

該当事項はありません。

（中間貸借対照表に関する注記）

※1 棚卸資産の内訳は、次のとおりであります。

	前事業年度 (2025年1月31日)	当中間会計期間 (2025年7月31日)
貯蔵品	395千円	395千円

※2 「資金決済に関する法律」に基づき東京法務局に供託している資産は、次のとおりであります。

	前事業年度 (2025年1月31日)	当中間会計期間 (2025年7月31日)
差入保証金	78,640千円	82,028千円

（中間損益計算書に関する注記）

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)	当中間会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)
支払手数料	848,974千円	898,716千円
通信費	246,883	227,205
給与手当	163,414	165,281
広告宣伝費	47,735	45,149

※2 取引協議費用

前中間会計期間（自 2024年2月1日 至 2024年7月31日）

該当事項はありません。

当中間会計期間（自 2025年2月1日 至 2025年7月31日）

音楽著作権管理団体（以下、管理団体とする。）と当社サービス「ツイキャス」での楽曲利用に伴う収入報告の内容に係る協議を継続しており、当中間会計期間において、協議事項の適切な解決に向けて追加で発生する可能性のある費用75,100千円を取引協議費用として計上しております。

(中間キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)	当中間会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)
現金及び預金勘定	2,448,280千円	2,979,837千円
預け金 (注)	26,328	1,012
現金及び現金同等物	2,474,609	2,980,849

(注) 預け金は当社提供サービスの対価回収における、決済サービス会社に対しての一時的な預け入れであり、随時引き出し可能であることから現金及び現金同等物に含めております。

(セグメント情報等の注記)

**【セグメント情報】**

I 前中間会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)

当社はライブ配信コミュニケーションプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメントに関する記載を省略しております。

II 当中間会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)

当社はライブ配信コミュニケーションプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメントに関する記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。